

令和7年

雲南市議会 6月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和7年6月13日～6月17日】

令和7年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/13(金) 9時30分～	17／佐藤 隆司	一問一答	1～2	11	6/17(火) 9時30分～	7／渡辺 重光	一問一答	23～24
2		6／廣野 祐二	一問一答	2～7	12		13／上代 和美	一問一答	24～27
3	6/13(金) 13時00分～	5／石原 忍	一問一答	7～10	13	6/17(火) 13時00分～	18／原 祐二	一問一答	27～28
4		1／竹部 貴博	一問一答	11～12	14		15／中村 辰眞	一問一答	28～31
5		9／高橋美佐子	一問一答	12～14					
6	6/16(月) 9時30分～	2／原 良太	一問一答	14～15					
7		14／中林 孝	一問一答	15～16					
8	6/16(月) 13時00分～	3／吾郷 希穂	一問一答	16～19					
9		4／福間 守	一問一答	19～21					
10		12／梶谷 佳平	一問一答	21～23					

令和7年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

令和7年6月3日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	17	佐藤 隆司 (一問一答)	<p>1. 安心安全なまちづくりが明るいまちづくりにつながる</p> <p>2. 身近な生活環境の向上支援について</p> <p>3. モデル的な民生委員・児童委員のあり方について</p>	<p>(1)「市通学路交通安全プログラム」は、通学路の点検を実施し必要な安全確保に向けた取り組みを継続して行うため、通学路危険箇所を抽出され対策されている。</p> <p>①令和6年度の通学路危険箇所の抽出件数は。</p> <p>②対策済み件数と未対策の状況は。</p> <p>③道路管理者が設置する道路照明・防犯灯と地元設置のすみ分けの基準は。</p> <p>(1)脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、公共施設の照明のLED化を進め、今後全ての公共施設のLED化に順次取り組むと方針が示された。</p> <p>①公共施設への先行モデルの具体的な内容は。</p> <p>②全ての公共施設へのLED化に向けての展開スケジュールは。</p> <p>③脱炭素社会の実現に向けての市民意識の浸透は図られているのか。</p> <p>④市民の暮らしに寄り添う、身近な生活環境(家庭内省エネ機器)の向上につながる支援も必要では。</p> <p>(1)1917年に岡山県で「済世顧問制度」として創設され地域福祉の制度でスタートし、現在の民生委員制度となっている。</p> <p>地域住民の相談相手として、福祉の向上を目指し、住民のニーズを把握し、必要な支援を補う役割を担い、社会奉仕の精神に基づき、地域社会の安心・安全な生活を支える重要な仕組みであり期待感が増しているが、社会情勢の変化により課題や問題も多いと聞く。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>①今年度は3年任期の改選期、各地区の候補者推薦の方法など課題があるのか。</p> <p>②その課題に対する対応は。</p> <p>③活動記録の提出などの課題は。</p> <p>④その課題に対する対応は。</p> <p>⑤新任研修や会議を含め業務量の負担感などの課題は。</p> <p>⑥その課題に対する対応は。</p> <p>⑦平時の活動や業務内容の負担感などの課題は。</p> <p>⑧その課題に対する対応は。</p> <p>⑨民生児童委員、行政、社会福祉協議会、地域自主組織など活動・業務の役割のすみ分けは。</p>	
2	6	廣野 祐二 (一問一答)	1. 農業経営基盤の強化促進に関する計画(地域計画)について	<p>国の農業政策において、これまで、地域との話し合いにより、「人・農地プラン」を作成・実行されてきたが、今後、高齢化や人口減少の本格化により、農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されている。農地を利用しやすくするよう、農地の集約化等の取り組みを加速することが喫緊の課題とされている。</p> <p>この課題を解決するために、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地の利用を明確化する「地域計画」を定め、これを実現化するため、地域内外から農地の受け手を幅広く確保し、農地バンクを活用した農地の集約化等をするという方針が示された。</p> <p>この「地域計画」は、「地域農業の将来の在り方」と「目標地図」を明確にすることにより、農作業がしやすく、手間や時間、生産コストを減らすことが期待できる農地の集約化等の実現に向け、将来、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>「地域の農地を誰が利用しどうまとめていくのか」「農地を含め、地域農業をどのように維持・発展していくか」を、若年者や女性を含む幅広い意見を取り入れながら、地域の関係者が一体となって話し合い、次の世代に着実に引き継いでいくことを目的としている。</p> <p>(1)2025年3月31日までに「地域計画」を策定、公表することとなっていたが、どのようなステップを踏み作成したか伺う。</p> <p>(2)雲南市には、農地面積が4,756 ㌦あり、耕作可能な農地はその内3,643 ㌦(76.6%)となっている。地域計画では、どのような範囲をその区域としているか伺う。</p> <p>(3)再生利用困難な農地及び遊休農地は、農地面積の内 23.4%を占めている。これらの今後の利用について、どのように考えているか伺う。</p> <p>(4)現在の農業を取り巻く環境の中では、時代に合った、農地の在り方が必要と考える。地域住民とよく将来のことを考え、農地とするところや、宅地とするところ等、地域計画に入れるべき範囲をもう一度、再構築すべきだと思うが、見解を伺う。</p> <p>(5)公表された地域計画によると、雲南市の農用地の集積率は、計画単位ごとに、0.6%～81.0%とばらついており、25の計画区域の内、1区域81.0%以外は、すべて38%以下となっている。又、これら24の区域の10年後の目標集積率は、すべて、67%となっており、この目標を達成するための道筋をどのように考えているか伺う。</p> <p>(6)島根県の報告によると、令和6年3月末時点の、県内の市町村ごとの担い手への集積率は、雲南市が16.9%となっており、知夫村の0%を除き最低となっている。これは、平成24年以来取組まれた</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 中小零細企業対 策について	<p>「人・農地プラン」による中心経営体に農地を集積していく将来方針が実施されていなかったのではないかと思うが、どう考えられるか伺う。</p> <p>(7)雲南市の森林面積は、土地面積の78.7%で、農地面積は、8.6%である。又、その耕地面積は、島根県内の市町村の中で、4番目に広い面積を有している。1番目から5番目の市町の耕地面積の合計は、島根県全体の耕地面積の61.5%を占めており、島根県の農業において、雲南市は、大変重要な位置を占めていると思う。雲南市の農業は、中山間地域ではあるが、今回策定された「地域計画」を今後、改善しながら、しっかりと推進していかなければならないと思うが、見解を伺う。</p> <p>令和7年3月定例会において、中小零細企業への支援、事業承継、新規起業支援、労働力不足への対応の一般質問を行った。又、「第3次産業振興ビジョン」も策定され、令和7年度から令和16年度までの方向性が示された。この中で、業種別総生産額を見ると、高い順から、製造業、不動産業、建設業、卸売業・小売業の順となっており、産業別従事者数でも、製造業、医療福祉、卸売業・小売業、建設業の順となっている。これら商工業の現在の課題は、これまで継続されてきた事業の持続的発展と起業及び新規事業への展開が必要で、そのためには、労務費を含む諸物価高騰に対応するための適正な価格転嫁、生産性を高めるための合理化と労働力の確保、円滑な事業承継が必要と考える。</p> <p>(1)この度、「改正下請法」が成立し、又、令和5年には、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」が出されている。いわ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 財政問題について	<p>ゆる下請け企業や、中小零細企業が多い雲南省の事業者に対して、適切な価格転嫁をするような働きかけができてきているかを伺う。</p> <p>(2)生産性を高めるための合理化と労働力の確保のためには、事業所の魅力化と利益の出る構造、賃金の上昇が必要と考える。最低賃金の引き上げには、国の関与を強めて支援するとの報道もあるが、どのように関与していくか伺う。</p> <p>(3)市においても、団塊の世代が、これまで事業所を支えており、今後5年から10年でリタイアされることが目に見えている。8年前の2017年のアンケート結果を見ると、回答した事業主は、60歳以上の人が66.2%であること、又、「承継を考えていない」「廃業を検討している」事業所は、合わせて全体の60.2%もあり、さらに、後継者を決めている事業所の88.3%が、「子供などの親族」となっており、現在、増加している第3者承継は、あまり考えていなかったことがうかがえ、大変危機的な状況と考えられる。早急に、再び、現状を把握するためのアンケートを取り、特に優良な事業所については、確実に第3者継承を含む事業承継を行っていかねばならないと思うが、どのように考えるか伺う。</p> <p>(4)雲南省は、産業振興のための様々な補助金・助成金を出していると思うが、その実績をできる範囲で公開し、その利用促進を図り、市民の理解を得ることが重要と考えるが、市としての見解を伺う。</p> <p>令和7年2月、令和7年度～令和11年度の5年間の雲南省中期財政計画が示された。この中で、継続される収支不足、基金残高の減少、高止まりする市債残高、実質公債費比率の上昇等、厳しい財政状況が示された。市民、市職員、そして、議会もこの厳しい財政</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>であることをほぼ認識しており、市の将来に不安を感じている状況 と 思っている。</p> <p>(1)市長は、現在の厳しい財政になり、今後もこの状態が続く状況に な った原因をどう認識しているか伺う。</p> <p>(2)第3次雲南市総合計画において、その将来像を「えすこな雲南 市」 とされており、この「えすこ」を「丁度よい状態」と説明され て いる。「丁度よい」という言葉に危機感を持っており、いわゆる「ゆ で ガエル」にならないようにしなければならないと考えている。人 口 減少社会においても、市民が将来にわたって、「幸せを感じる」た め には、健全な財政状況が保たれるという状況を早急に示さなければ な ら ないと思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3)重要な財政指標の1つである実質公債費比率が、18%を超え る と、地方債の発行に、「公債費負担適正化計画」を作成し、総務大臣 の 許可が必要になる。すなわち、一定の制限がかかるということ で ある。中期財政計画において、近い将来18%に限りなく近づく状 況 のなか、早期に改善しておかないと、毎年のように繰り返される自 然 災害等の緊急事態に、市民の安心安全を担保できないのではない か と思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>(4)5月26日に総務常任委員会に示された、令和5年度の「統一 的 な基準による財務書類について」で、住民1人当たりの負債額が、 一 般会計等で117万円と令和4年の類似団体平均の77.5万円に対 し て非常に高く、又、住民1人当たりの行政コストも82.4万円と同 様 に類似団体の61万円に対して高い値を示している。この2つの指 標 だけでも、負債を減らしていかなければならないこと、行政サー</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ビスの合理化が必要なことは、顕著である。本年度から、「行財政改革推進課」へ改組されたが、財政再建と行政サービスの合理化は、痛みを伴うもので、これについては、ボトムアップではなく、トップダウンにより方向性を示し、住民の理解を得たうえで、強力に推進すべきだと思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>(5) 今後、人口減少社会において、学校や交流センター等の公共施設の再編、行政サービスの棚卸による徹底した「ムダ」の排除が必要と考える。企業経営においては、収入は不安定な要素があるため、経営が厳しいときは、新たな投資は控え、建物、設備、機器の長寿命化、経営内の徹底したムダ取りと合理化にフォーカスして経営の安定に努める。このことについて、市長は、どのような方向性を考えているか伺う。</p>	
3	5	石原 忍 (一問一答)	1. 次期一般廃棄物 処理施設について	<p>(1) 次期一般廃棄物処理施設の検討状況について、5月28日に開催された全員協議会において説明があった。その際の説明では、これまで雲南市・飯南町・奥出雲町の1市2町において老朽化しているごみ処理施設を整備することとし、新たに整備する候補地の選定を進め、令和6年度に最終候補地を数か所まで絞り込んだ。しかし、整備費用の増加(基本構想策定時(R5.3月以前)約122億円、交付金事前協議時(R6.9時点)約180億円)や、近年の物価高騰の収束状況の見通しが困難な状況に加え、今後も施設整備費を含めた事業費全体の増加も懸念されることから、再検討することとなった。昨年の9月時点で基本構想策定時より約60億円増額することが分かっていたにも関わらず、この間何の説明もせず、半年以上も経ってからこの数字を示して再度検討し直すとされたのはあまりにも対応</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 介護サービスの提供体制の充実について	<p>が遅すぎる。また、これだけの大規模プロジェクトであるので、都度経過説明をするなど、もっと丁寧に進めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 基本構想時に目指した三位一体型施設整備(可燃ごみ処理施設、不燃ごみ処理施設、最終処分場)の計画をそのまま進めていくべきではなく、段階的に整備することも検討するとされたが、先送りすればするほど整備費も更に高騰し、結果として同時に整備しておいた方が良かったということにならないかと思うが、見解を伺う。</p> <p>(3) 雲南圏域の実情に即した次期一般廃棄物処理の仕組みを再度検討するとされたが、雲南圏域の実態に即した廃棄物処理の仕組みとはどのようなことを想定されているのか伺う。</p> <p>(4) 民間委託処理業者への処理業務委託方式などの有効性も見極めながら最適な方法を模索することのことだが、そもそも民間委託方式も十分に検討された上で、民間委託ではなく直営による整備を選択されたのではなかったかと思うが、見解を伺う。</p> <p>(1) 介護職員の処遇改善について 身体機能・認知機能が低下し、要介護状態になる人が約 6 割と増える 85 歳以上の人口は 2020 年には全国で約 600 万人、2035 年には約 1,000 万人となり、2070 年以降までその状況が続くと見込まれている。一方で、要介護者を支える介護職員の必要数(第 9 期介護保険事業計画)は 2040 年度に約 272 万人と見込まれているのに対し、2022 年度の介護職員数は約 215 万人にとどまっている。このように介護職員の不足は大変深刻な状況にあり、市としてもこの問題には危機感を持って対処し、独自の処遇改善策を講ずるなどの取</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 市内周辺部の医療提供体制の確保について	<p>り組みをすべきである。また、県や市長会などとも連携しながら、産業別に見ると最も低い賃金体系となっている介護職員の賃金について、国費において改善を図るよう国に対して強く求めて行くべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 介護人材の育成について</p> <p>雲南地区においても、令和8年度には介護人材が約340人不足するとされており、この不足する状況を改善していくためには、介護を担う人材を育てる取り組みも必要である。医療職については、小学生・中学生・高校生それぞれの段階で体験学習など、医療職に興味を持ってもらうような取り組みが行われており成果も出ている。介護人材についても、県や広域連合等と連携して人材育成にもっと力を入れて取り組んで行くべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 訪問介護員(ヘルパー)の確保策について</p> <p>介護職員の中でもヘルパーの不足は相当深刻な状況にあり、市内の介護事業所においてもヘルパー不足により午前中の訪問が出来ないなどの支障も起きていると聞く。このように深刻な状況にあるヘルパーを確保する施策として、県補助金(地域医療介護総合確保基金)などを活用して、市が直接ヘルパーを雇用し、介護事業所に派遣する仕組みを構築してはどうかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(1) 在宅医療の充実について</p> <p>高齢化が進む中で医療提供体制の充実・確保は必要不可欠である。中でも、広範な面積である雲南市においては、地理的にも病院に通院することが難しい方もおられ、そのような方に提供する医療としては、訪問診療や訪問看護などの在宅医療であり、その在宅医療の</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>充実を図ることが必要である。しかし、その在宅医療を担う開業医については、高齢化や後継者不足が深刻な状況にあり、現実問題として往診や訪問診療が担える医師が減って来ており、今後も減少が見込まれる。また、訪問看護を担う看護師についても、特にコロナ禍以降不足が深刻になっており、訪問件数も制限せざる負えない状況にもある。この状況下において在宅医療を守るためには、市と県が連携しながら医療行政体制の充実を図り、人材確保などにもしっかりと取り組むべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 巡回診療の維持・継続について</p> <p>市内周辺部の医療の確保として重要なのが、在宅医療と共に巡回診療がある。巡回診療は無医地区及び準無医地区において、医師や看護師などが巡回して診療する制度であり、市内においては行政主導の巡回診療として、吉田町田井地区にある田井診療所における巡回診療と、掛合町波多地区の波多交流センター内に設置された診療スペースを活用して行う巡回診療があり、何れも雲南市立病院の医師や看護師などが定期的に巡回して行っている。この巡回診療の受診者は高齢化等により減少しているようであるが、診療所まで通える方にとっては健康の維持管理のためにはなくてはならない診療であり、今後も市の責任において存続して行く必要があると思っているが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) オンライン診療について</p> <p>IT化が進む中で、市内周辺部の医療を支えるシステムとしてオンライン診療がある。限られた医療資源を有効に活用する手段としてオンライン診療の充実も図って行くべきと考えるが、見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>繕にかかる費用の増加など、様々な課題が顕在化している。</p> <p>一方で、厳しい財政状況が続く中、今後さらに進行する人口減少などにより、公共施設の利用のあり方にも変化が生じることが見込まれる。</p> <p>こうした状況を踏まえ、施設の更新・統廃合・長寿命化を、長期的な視点で計画的に進めることにより、財政負担の軽減と平準化を図るとともに、今後の公共施設の最適な配置を実現していくことが求められている。</p> <p>(1)子育て支援施設(保育所・幼稚園等)の老朽化の現状と、改修・建替え等に関する今後の見通しについて伺う。</p> <p>(2)災害時を含めた安全性の確保や快適な保育環境の整備に向けた基本的な方針について伺う。</p> <p>(3)スポーツ施設(体育館等)の老朽化の現状と、改修・建替え等に関する今後の見通しについて伺う。</p> <p>(4)利用状況や地域ニーズの変化を踏まえた、施設更新や統合の方向性について伺う。</p>	
5	9	高橋美佐子 (一問一答)	<p>1. 市報等の配布について</p> <p>2. かぐらの宿の修繕について</p>	<p>市報等の行政情報は自治会を通して配布されている。最近、自治会に加入していない人も増えているが、そのような人はどこに行けば市報等の行政情報を手に入れることができるか、また、入手できる情報はどのようなものがあるか伺う。</p> <p>かぐらの宿の茅葺屋根は、老朽化し雨漏りがするというので、継ぎはぎの応急修繕がほどこされている。かぐらの宿は、神楽の伝承施設として重要な施設であり、また、「瑞風」バスの立ち寄り観光地である須我神社に隣接する立地で、大勢の観光客の目に触れる場</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 災害時の指定避難所の運営について</p> <p>4. 学校給食の状況について</p>	<p>所でもあり、雲南省のイメージダウンとならないようきちっとした修繕が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1) 現在雲南省内には、指定避難所及び指定緊急避難所は何か所あるのか。また、概ねどのくらいの市民が避難できるか。</p> <p>(2) この指定避難所の運営は、誰が開設して、どこが運営するのか。</p> <p>(3) 災害時には非常食や毛布、衛生面の対策が必要と考える。断水等により水洗トイレが使用できなくなることが想定されるなど、いろいろ問題があると思われるが、特に女性や子ども、高齢者など災害時の避難所ではどのように対応すべきか見解を伺う。</p> <p>(4) 市も国際化が進む中、多様な言語に対応しての放送や、携帯を通じた避難指示など検討されているか。</p> <p>(5) 外国人も同じ避難所に避難することがあると思うが、職員の対応はどのように考えているか。</p> <p>(6) 食生活などの課題はあるにしても、食事や水などの配布などにも工夫が必要かと思うがどのように考えているか</p> <p>(1) 学校給食における地場産物・市産食材を使用する割合を伺う。また、各給食センターごとの使用率について伺う。</p> <p>(2) 産直などの野菜が高騰した時には、給食センターに出すより、産直に出した方が有利であるなど想定されるが、野菜の価格はどのように決定しているか。</p> <p>(3) 旧木次学校給食センターの現状と利活用の検討状況について伺う。また、当該施設が玉ねぎ、じゃがいもなどの中間貯蔵施設として利活用できるか伺う。</p> <p>(4) 調理現場と生産現場の連携が重要と聞いているが、そのあたりは</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 原子力災害対策に係る安定ヨウ素剤の配布について	<p>どのようにしているか。</p> <p>(5) 農家も給食センターも連携して、安心安全な地元の野菜や栽培する品種などを検討してきたと聞いているが、現在も同じ考えで取り組んでいるか。</p> <p>(6) 以前は生産農家に直接出向いて営農指導を行っていたようだが、現在はどうなっているか。</p> <p>(1) 安定ヨウ素の配布を受けるにはどうしたらよいか。</p> <p>(2) 服用のタイミングは、だれがどのような方法で指示するのか。</p> <p>(3) 対象者は乳児から40歳までとなっているが、40歳以上でも服用できるか。</p> <p>(4) 安定ヨウ素には使用期限があると聞くが、期限切れのものはどのように処分するのか。</p> <p>(5) 原子力防災訓練は一年に何回実施するのか、また、何かあった時は素早く対応が出来るのか伺う。</p>	
6	2	原 良太 (一問一答)	1. 人口減少問題への本市の取り組み方針について 2. 建築基準法改正の影響について	<p>市長は、3月定例会において人口減少問題への取り組みは本市の最重要課題であるとの見解を示された。「人口減少問題への対策や取り組み」ということばには、大きく分けると次の2つの意味に捉えることができると考えるが、雲南市はどちらの方針であるのかを問う。</p> <p>(1) 人口減に歯止めをかける(増を目指す)。</p> <p>(2) 人口減少は避けられないものとし、雲南市に残った市民での生活基盤維持を目指す。</p> <p>昨年度までは必要のなかった建築確認申請が、建築基準法の改正に伴い、本年4月より新たに必要となる住宅工事が増えるのではと考える。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 新たな融資制度 の創設について	<p>(1) 昨年度までならば建築ができたであろう建物が、何らかの措置を建築主において講じない限り建築できない、建築するためには通常建築主が想定する以上に過大な費用が発生する等の事例は発生しているか。事例が既に発生しているとすればその原因は。また、現在発生していない場合、今後発生する可能性とその事例はどのようなものが想定されるのか伺う。</p> <p>(2) (1)の事例について、市として何らかの対策は講じているか伺う。</p> <p>中山間地域等直接支払制度と多面的機能支払制度は、今年度より新たな“期”として継続された。</p> <p>(1) 両制度共に今年度新たな活動計画の作成や協定締結が必要となるため、交付金の交付は遅れると考えるが、今年度以降も協定継続の意思がある団体への影響は発生していないか。</p> <p>(2) (1)のように、交付される蓋然性は認められるが、その時期が国・県の対応に大きく左右される種類の補助金等に対し、本市独自の融資制度創設を検討してみてはどうか。</p>	
7	14	中林 孝 (一問一答)	1. 今、直面している雲南省の危機・課題への対応について	<p>(1) 米国関税措置(トランプ関税)について</p> <p>① トランプ関税が本市に与える影響と対策について伺う。</p> <p>(2) JR 木次線について</p> <p>① 本年4月22日、加茂町内で JR 西日本は木次線沿線自治体に対し木次線の利用状況などのデータを示し説明会を開催した。本市は出席したか。</p> <p>② 今後、木次線存続にどのような対策をとるか。</p> <p>(3) 令和の米騒動について</p> <p>① 雲南省における本年の作付け状況と農家所得の向上に関する所見</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>を伺う。</p> <p>②米価高騰が学校給食に影響を与えていないか。財政支援は必要か。</p> <p>(4)子どもの安全について</p> <p>①学校給食に異物混入事故が相次いだ。原因と対策を伺う。</p> <p>②加茂こども園の施設(園舎の天井、築山、ブランコ等)が老朽化している。対策を伺う。</p> <p>③通学路の安全対策(冠水や積雪、落下物や倒壊物、横断歩道の標示、獣害等)は万全か。</p> <p>(5)財政について</p> <p>①大型公共工事(災害復旧工事を除く)への方針を伺う。</p> <p>②収支不足にどう対応するか。</p> <p>③保有有価証券(株式を除く)の残高と含み損益を伺う。今後の対応方針、対策を伺う。</p> <p>④市民が必要とする事業に予算が十分でないことへの所見、対応策を伺う。</p>	
8	3	吾郷 希穂 (一問一答)	1. 子育て支援、産後ケアについて	<p>「えすこな雲南市」という素晴らしいスローガンが定まりそれに向けて市長、各部署、気持ちを新たに取り組んでいくことと思う。今後は具体策を作成し実行に移していく時期に来たと思っている。元気な子どもは雲南の未来、日本の未来を作り支えていってくれる大切な存在だが、子育てについて市長選挙の時も、今回の施政方針の中にも特に言及はされていなかった。</p> <p>(1)現在、思案されている子育て施策の中長期目標はどんなものかを問う。</p> <p>(2)産後ケアのショートステイ・デイケア・訪問それぞれの実施状況</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>は。また、利用制限7回とあるが、支援は足りているか問う。</p> <p>(3) デイケアの数字の伸び率を見ても産後ケアのニーズがあるということが明らかである。雲南市立病院はすでに完璧に近い施設設備が整っているが、別の委託先施設設備等の支援について、より産後ケアを利用しやすくするため拡充が必要だと思うが、今年度、来年度の設備支援について予算組みする予定はあるか問う。</p> <p>(4) 島根県内、産後ケア事業で4カ月以降の子どもへの加算をR7年度から行っている市町村はあるか。また、これについて市の負担割合がR7年より国1/2 都道府県1/4 市町村1/4 となり減ったが、今後4カ月以降の子どもを受け入れる加算・施設設備を予算に組む予定はあるか問う。</p> <p>(5) 産前産後ケアの訪問サポート事業も、先ほどの産後ケアもあるが、利用制限回数をもう少し増やし、さらに例えばオムツを生後1年間無償化するなど、目の前の子育て支援内容充実を図っていくことで満足度は上がり、「満足度UP イコール安心感」「安心感イコール出産」につながることはあるのではないかと思う。産後ケアの回数を増やし、1年間オムツ無償化ができないかを問う。</p> <p>(6) 「雲南市のどこが子育てしやすいのか。」と子育て中の方に質問されることがしばしばある。子育て支援見える化の充実もしっかり図っていくべきだと思うが、可視化することで認知が上がり、子育て世帯だけでなく移住希望者等へ広く理解を得ることができるのではないか。津和野町のHPには「出産・子育て関連補助制度一覧」のページがありわかりやすいが、雲南市でも津和野町に倣い「出産・子育て・教育関連補助制度一覧」を作ってみたら良いと思うがいかに</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 子どもの健康 (発達)と安全について	<p>がか。</p> <p>(1)子どもの体力低下について危惧している親の声がある。幼少期も含むが学校でも「危ないこと」は極力させない方針ではないか。これだと危険回避能力も低下してしまうのではないかと思う。夏場、学校では草履を履いて過ごしていたが転ぶ生徒が時折いて危ないので禁止になった。これはそもそも履きなれていない、足の筋肉が発達していないなどが考えられるが、幼児教育の頃から慣れておく、足や指の筋肉を鍛えていくことで問題は少なくできるのではないか。</p> <p>(2)学校は、心身の成長発達段階にある子どもが集い、人格の形成をしていく場であり、小学校で起きる大小様々な問題に対し、危機管理と発達の面で早期発見と対策も含め幼稚園・保育園の職員と学校教職員などの情報共有はしっかりとられているか。取られているなら今の課題はどんなものか。取られていないなら早期実現する段取りを組む予定があるか、問う。</p> <p>(3)バス通学のドアツードア送迎は体力を削いでしまうのではないか。掛合小学校と島大による取り組みとはどんなものか。またそれを雲南市全体に採用したら教室内の授業進行もよりスムーズになるのではないか。</p> <p>昔の学校は授業で裁縫をし着物を仕上げていたり、動物を飼って命の大切さに触れる。田畑を耕し草刈りをして食べる有難さと喜びを皆で学んだりしていた。今でも田畑の体験等している幼稚園・保育園・学校は少なくないと見聞きする。</p> <p>(4)教育は机に座って行うだけではなく、身体をしっかりと動かし、皆</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>で活動を通して感性を磨いていく場所でもあると思うが、テストの点数ばかりが採点項目となっているのではないか。</p> <p>(5) 幼稚園・保育園・学童のおやつや捕食に関して気にする声がある。チョコレートや飴など甘い物、嗜好品に偏るような物を食べた子どもから聞いており、虫歯や、血糖値スパイクを心配する声がある。一方、家に帰りなぜかすごく不機嫌でわめき散らしたり、イライラしたり、兄弟にあたるなど問題行動が気になり、色々聞いてみると家ではあまり食べないものを食べたということが度々あるとの声もある。子どもの健康に関する重要なことであるため、空腹時に食べて良いものと悪いもの、成長に必要な物と嗜好品を区別するなど、幼稚園・保育園・学童等事業所との意識統一を図ってほしいがいかがか。</p>	
9	4	福間 守 (一問一答)	<p>1. 「平和を」の都市宣言について</p> <p>2. 避難所開設・運営について</p> <p>3. 農業振興について</p>	<p>戦後 80 年、「平和を」の都市宣言から 20 年が経過する。</p> <p>(1) 雲南市のこれまでの取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 核兵器の廃絶と世界平和の実現のために、雲南市は何をすべきか見解を伺う。</p> <p>梅雨入り間近、大雨が心配される。大雨による避難所開設について伺う。</p> <p>(1) 「自力で避難所に行けない方」の避難をどのように支援するのか。</p> <p>(2) 「避難所で迷惑をかけてしまう」と心配して避難をためらう(拒否する)人もいる。そのような方にどのように対応すべきか。</p> <p>(3) 避難する際の注意点は。</p> <p>(4) 避難所には何を持っていくのか。</p> <p>県の作付け意向調査で「主食用米の作付面積が前年実績比 1. 9%</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>て</p> <p>4. にぎわい創出・ 観光振興について</p>	<p>増。加工用米や飼料用米などは減少」と報道されている。</p> <p>(1)直近の雲南市の状況について伺う。</p> <p>(2)(1)の状況をどのように評価しているか見解を問う。</p> <p>(3)食糧の国産化や生業としての農業、儲かる農業について、今後どうあるべきか見解を問う。</p> <p>(4)米の二期作、二番穂の活用について、検討の余地があるのか見解を問う。</p> <p>(1)桜まつりのメインイベントなどに9万超の人出があった。観光による経済活動の推進と交流人口の拡大をめざす雲南市としての歩みについて。</p> <p>①雲南市の観光の強みは何か。</p> <p>②どのように宣伝しているのか。</p> <p>③課題は何か。</p> <p>④どのように対策するか。</p> <p>⑤注力する点は。</p> <p>(2)観光客や来訪者は自家用車やレンタカーを利用されている実態がある。</p> <p>①滞在時間を延ばす、宿泊客を増やすための対策は。</p> <p>(3)「食べる所(店)が少ない」という声を聞く。</p> <p>①どのようにとらえているか。</p> <p>②対策は。</p> <p>(4)コトリエットに観光案内所が開設された。</p> <p>①どのような効果を期待するのか。</p> <p>②観光振興を図るといふ具体的な目標は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 「住みたい田舎 ベストランキン グ」について</p> <p>4. 改正鳥獣保護管</p>	<p>(1)全国ベースで人気商品は、どのようなものがあるのか。その人気商品と言われる品物と類似した商品が雲南市にもあるのか伺う。</p> <p>(2)雲南市のふるさと納税の返礼品提供事業者は71社が加盟している。品揃えは増えているのか。品揃え充実のため、事業者向け支援策はどのようなことを行っているのか伺う。</p> <p>(3)都会地で開催される「ふるさと納税イベント」への参加や寄付者との面談は実施しているのか伺う。</p> <p>宝島社が発行する雑誌「田舎暮らしの本」2025年2月号に掲載の特集「住みたい田舎ベストランキング」(人口3万人以上5万人未満のまち部門)において、雲南市は「若者世代・単身者」で全国第1位に選ばれた。部門別では4年連続の全国第1位である。</p> <p>(1)部門別で4年連続全国第1位だが、人口減少に歯止めがかからない。このギャップをどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2)「市では、引き続き、誰もが安心して暮らせるまちを目指して、子育てにやさしい環境づくり、若者がチャレンジしやすい環境づくり、子育て世代が定住しやすい環境づくりなど、人口の社会増に向けた様々な施策に力を入れていく。」としているが、人口減少は止まらない。その要因分析を行い対策は行っているのか伺う。</p> <p>(3)「人口戦略会議」が2024年4月24日に公表した報告書で、県内19市町村のうち雲南市と奥出雲町、津和野町、隠岐の島町の計4市町村が「消滅可能性自治体」に分類された。一方、浜田市、益田市、大田市など12市町村は改善がみられ、今回は「消滅可能性自治体」から脱したが、この脱した自治体の要因は何と考えるか。</p> <p>2025年4月18日に改正法が成立し、市街地でのクマ銃猟を可能</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			理法について	にするなど、クマによる被害対策が強化された。 (1)改正内容について市の見解を伺う。 (2)市内猟友会では、クマに対応できる人材がどの程度いるのか伺う。	
11	7	渡辺 重光 (一問一答)	1. 出生数の減少と 学校数について 2. 福祉タクシーの 助成について 3. 消防団の支援に ついて	(1)出生数の減少は続いており、令和6年生まれの子どもは141人である。この子どもが12年後の中学校1年生の人数であり、1クラスを45人学級とすれば3クラスで足りる事になる。現在市内の中学校は6校あるが、この状況に対し、どう対応するのか伺う。 (2)現在の市内の中学校の建設年次等から見て、今後の建設の予定を伺う。 (3)保育所や学校は地域の中心であり、そういう中での統廃合は、保護者は賛成、地域としては反対というような傾向にある。市長は生徒数の減少をもって統廃合はしないと断言されているが、改めて考えを伺う。 在宅で通院が必要な方に対し、支援されている福祉タクシーの年間の利用交付額は上限3万円となっている。 (1)この制度を利用されている市民の方から、年間30万円近くの費用がかかり、年金生活者にとって負担が大きいとの声がある。現在の利用状況を踏まえた見解を伺う。 (2)助成の内容は市内一律であるが、居住地による負担のアンバランスが生じている。地域によって交付額に差を付けることはできないか伺う。 消防団員の報酬が個人に直接に支払いになり、部、班の活動費は減少傾向が見られる。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(1) ポンプ管理手当費、分団運営費など何年も変わっていないが、増額の考えはないのか伺う。</p> <p>(2) 防寒着、長靴等団員の備品の購入に支援をして団員の負担を減らすことができないか伺う。</p>	
12	13	上代 和美 (一問一答)	1. 生活困窮者支援 について	<p>(1) 生活保護について</p> <p>①長引く物価高騰の中、昨年私たち日本共産党雲南市委員会が行った市民アンケートでは「年金生活で物価の各種値上がりで苦しい」「年金生活なので、年金は上がり、物価高はこたえる」など生活の苦しさを訴える多くの声が届いた。昨年社協を訪れた際、生活困窮者相談がとて増えていると聞いた。市として状況をどう受け止め、把握されているか。</p> <p>②現在、生活保護の捕捉率は何%か。</p> <p>③県内他市との級地の違いで生活保護が受けられない事例がある。給付削減のための級地区分見直し、簡略化には反対だが、生活実態にあった見直しが必要ではないか。級地は国が決めることだが声をあげるべきである。</p> <p>④自公政権は生活扶助基準の引き下げ、期末一時扶助の減額、住宅扶助基準の引き下げ、冬季加算の削減など生活保護費の連続削減を強行してきた。そのために。今物価高騰にあえぐ生活困窮者の最後の砦である生活保護が必要な方に行き届かない状況が起こっている。物価上昇や生活実態を反映させながら、生存権保障にふさわしい水準に引き上げるべきである。市として、地方からの声を国に上げるべきではないか。</p> <p>(2) 市は生活保護に至らない、また対象になっても生活保護をう</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 小中学校のトイレの洋式化・暖房便座化について	<p>けない生活困窮者へまずはいのちを守る独自支援をすべきと考える。いくつか提案する。</p> <p>①これからの暑い夏に備え、エアコン設置補助。</p> <p>②お米の価格高騰はすさまじい。生活相談者で食料支援が必要な方へお米券か現物支給。就学援助を利用している世帯へお米券か現物支給。</p> <p>(3)生活保護をはじめ、就学援助やあらゆる既存の制度を最大限利用し、困窮者に寄り添った市政にするため、市民への制度の丁寧な周知をし、必要な方に制度がきちんと届くような工夫をしていただきたい。特に高齢者のみなさんにはアナログ情報もふくめて親身な対応をすべきと考えるがいかがか。</p> <p>(1)令和4年度当初予算で小学校66基、中学校33基の洋式暖房洗浄便座への改修が行われたが、未だに洋式化率は44%、そのうち暖房便座は洋式トイレ全数の54%にしかない。今やほとんどの家庭が洋式であり、暖房洗浄便座も多くなってきているが、雲南市の子どもたちの学校環境は社会の流れに追いついていない。令和4年12月議会一般質問での答弁で「今回で終わりではなく今後とも計画的にやっていく」とされたが、どういう計画が立てられているのか。</p> <p>(2)松江市では、令和3年度に児童・生徒・教職員を対象に「学校トイレ実態調査」を行って、和式トイレを利用する方が約2割おられることから、学校トイレの洋式化の目標値は全体の80%に設定し、計画的にトイレの改修をされている。子どもの声を聞きながら、一定程度和式を利用したい方もいることも考慮に入れ、改修の目標値を決めて計画的に洋式化・暖房洗浄化を早急に進めるべきである。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 戦後 80 年、被爆 80 年に「平和を」の都市宣言を持つ市の取り組みについて	<p>(3)和式トイレを使ったことがない子どもたちにとって、各トイレに最低 1 カ所しかない洋式トイレでは、休憩時間など立て込んだ時は不安になる。児童数も考慮に入れ早急に洋式暖房便座化を計画的に進めるべきである。</p> <p>(4)学校は災害時の避難所にもなっている。避難された方が安心して使えるようにするうえでもトイレの洋式暖房便座化は早急に計画的な改修を進めるべきである。</p> <p>(1)今年には戦後 80 年、被爆 80 年の節目の年になる。日本はアジアの諸国を植民地化し、支配する紛れもない侵略戦争を行った。戦後の出発点はその反省に立って日本が誓った日本国憲法である。戦後戦争によって死者を出すことがなかったのはこの憲法のおかげである。しかし、今また、中国や北朝鮮の脅威を理由に軍事費を大幅に増やし、軍備増強をし、戦争のできる準備を着実に進めている。軍事対軍事では平和は守れないと考えるがこの状況について、「平和を」の都市宣言をしている市として、また、その首長として市長はどのような所感をお持ちか。</p> <p>(2)世界では核兵器を保有している国々が地域での紛争を激化させている。偶発的にでも核兵器が使用されれば、壊滅的な状況が起こることは明らかである。多くの被爆者が自らの命を賭して「核兵器の非人道性」を世界に訴え続け 2017 年に国連で採択され、2021 年に発効したのが核兵器禁止条約である。日本政府はいまだにオブザーバー参加さえもしていない状況である。米国の傘の下、核抑止と言いながら米国追従の核政策でいいのかが問われている。「平和を」の都市宣言をしている市として、また、平和首長会議に参加してい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>る市長として、被爆者が願う核兵器禁止条約に日本政府が批准すべきと発信すべきではないか。</p> <p>(3)この節目の年に、行政として特別に何か取り組むべきことあるいは発信することはないのか。</p> <p>例えば、平和に関する映画上映や「核兵器禁止条約」署名を全市的に取り組む。また、永井隆記念館入館料を夏休み中は無料にするなど、80年の節目にふさわしい取り組みをすべきである。</p>	
13	18	原 祐二 (一問一答)	<p>1. 人口減少の抑制について</p> <p>2. 教育環境について</p>	<p>第3次雲南市総合計画の人口シミュレーションにおける、出生数の目標に向けた施策について</p> <p>(1)人口シミュレーションについて</p> <p>①合計特殊出生率の算出年齢である、15歳から49歳の女性人口の見込みについて問う。</p> <p>②出生数、合計特殊出生率のシミュレーション値を問う。</p> <p>③女性人口(15歳から49歳)の減少抑制に向けた、課題と対策を問う。</p> <p>(2)非婚化・晩婚化の現状と対策の推進について問う。</p> <p>令和7年3月に策定された、第5次教育基本計画での教育環境の整備について</p> <p>(1)基本計画の基礎となる児童生徒・就学前のこどもの数(5年・10年先)について問う。</p> <p>(2)学校の適正規模・適正配置の推進について、現状(学級人数・学級数)と課題を問う。</p> <p>(3)中学校校区のあり方、小中一貫学園化構想の課題と今後の展開を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 次期一般廃棄物処理施設について</p> <p>4. 財政の健全化について</p>	<p>雲南圏域一般廃棄物(ごみ)処理施設総合整備構想の再検討について</p> <p>(1)再検討に至る経緯と今後のスケジュールを問う。 (2)前年度までに要した、広域化施設への投資経費(委託費・人件費等)を問う。 (3)既存施設の活用による規模の決定、民間廃棄物処理業者への処理業務委託、PFI・DBO方式について、協定締結前の検討内容を問う。 (4)3市町の可燃施設・不燃施設・処分場の更新リミット及び施設処理量の見込み(減価償却期間)について問う。 (5)本市において、最も財政負担を抑えられる方式について、現状での見解を問う。</p> <p>本市の財政状況と今後の財政運営について</p> <p>(1)早期健全化基準、財政再生基準、経営健全化基準、地方債発行の事前制限について、今後の見込みを問う。 (2)行政コスト(借地料等)の現状、縮減に向けた課題と今後の取り組みを問う。 (3)財政健全化計画の策定について問う。</p>	
14	15	中村 辰眞 (一問一答)	1. 小学校の登下校時(主に下校時)の安全確保について	<p>先日の新聞記事に掛合小学校区内でのスクールバス通学児の体力向上を目的とした目的地手前 500メートルから歩く取り組みが紹介された。</p> <p>一方他の小学校には、通学距離が約 4~5 キロメートル。時間として 1 時間を超える距離を徒歩で通う児童もいる。特に長距離で長時間を徒歩で移動している児童に対しては昨今の社会情勢や気象状況などを加味して考えると非常に強く危険性を感じる。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南省の GDP 底 上げ策について	<p>(1)教育委員会及び現場の教職員は、児童が安全に登下校できるのか通学路を徒歩で確認されているのか。</p> <p>(2)学校敷地内と学校敷地外での安全確保の責任の所在は学校か保護者か。</p> <p>(3)下校途中の児童と保護者が出会ったとき、保護者の車に乗せてはならないとされている。保護者の心情を考えると可とすべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(4)保護者が迎えに行くことが明確な時、当該児童を学校に待機させることはできないとされているがその理由を伺う。</p> <p>(5)夏場の下校時には炎天下を1時間ほど歩くことになる。水筒には水分はなく、日陰はきわめて少ない。さらに緊急時に助けを求める民家も少なく、ただただ歩き続けるしかない状況。帰宅後には熱中症と思える症状を見せることもあり、学校からの課題をこなせることはできない。このような状況下においてスクールバスの適用を行うべきと考える。さらには市民バスの利用も検討するべきであるが見解を伺う。</p> <p>(1)雲南省の GDP はいくらか。</p> <p>(2)本市で最大のイベントは「さくらまつり」と認識している。さくらまつりの経済効果をどのように見ているか。</p> <p>(3)7月には民間宿泊施設が開業予定となっている。これにより本市での宿泊者定員が増える。経済効果が高いと思われる宿泊を伴うイベントを企画立案する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>(4)「加茂文化ホールラメール」の改修が完了したのちに、吹奏楽関連のイベントを積極的に誘致してはどうか。まずは、全日本吹奏楽</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. リース型空き家 バンクについて	<p>コンクール島根県大会をと思うが見解を伺う。</p> <p>積雪の多い地域の高齢者世帯からこの冬にも相談があった。「高齢でありながらも仕事をされている方にとって積雪、圧雪、凍結時の車での移動はかなりの負担である」「冬季だけでも雪の少ない職場に近いところに避難的移住をしたい」「公営市営住宅の選択もあるが、初期費用がかかり中々踏み切れない」「売買や賃貸を主としている空き家バンクは考えたことはない」とのこと。</p> <p>(1)公営市営住宅について避難的措置としての超短期間利用は可能か。</p> <p>(2)市内各地域で空き家がないか問いかけると「なんぼでもある」と一様の返事がある。しかし、実際に交渉すると様々な事情がみえてきて良い返事がないのが実情である。貸し出しに対してのハードルを下げ、状況にもよるがリフォームなし、現状での使用を条件とすると、高齢者の短期利用だけではなく、賃貸契約で発生する初期費用が払えない方などにもリース方式は有効ではないかと考えるが見解を伺う。</p>	
			4. 小さい公園の遊 具撤去の判断につ いて	<p>三刀屋交流センター横公園の遊具については安全性の不安から撤去されるとの話が数年前から聞こえている。</p> <p>(1)遊具の安全性についての判断根拠について伺う。</p> <p>(2)仮に遊具が撤去されるとただの空き地になるが跡地利用の考えはあるのか。</p> <p>(3)総合センターや交流センターでアンケートを取っている。結果として遊具を残してほしいとの意見が多くあった場合、どのような対応となるのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(4) 三刀屋町地内にはコトリパークがある。敷地も広く人気は高いが、公園を囲むフェンスに隙間があり動きの速い子どもに対しての安全性に不安があるとした声が利用者から出ている。隙間無くフェンスを設置し出入り口は回転バー式(三成公園参考)などにより現在よりも安全性が確保できると考えるが見解を伺う。	